

# 日本写真学会 第30回カメラ技術セミナー

2023年11月17日(金) 10:00~19:00 東京都写真美術館

**主催** (一社)日本写真学会 カメラ技術研究会  
**協賛** (一社)画像電子学会, (一社)日本印刷学会, (一社)日本画像学会, (一社)日本オプトメカトロニクス協会 (順不同)  
**日時** 2023年11月17日(金) 9:30(受付開始) 10:00~19:00(懇親会含む)  
**会場** 東京都写真美術館 1F ホール (〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内)  
**講演会懇親会** YEBISU GARDEN CAFE(恵比寿ガーデンプレイスタワー3F)  
**参加費** 正会員・賛助会員・協賛学協会員 10,000円 非会員(一般) 11,000円  
学生会員 3,000円 非会員(学生) 4,000円

## 参加申込

※参加申込の方は、参加募集ページ→ <https://forms.gle/VoLcswxb1jjLCHHPA>

で参加区分(参加費別)のボタンを選択し、「参加登録」(Google Forms)\*に記入・送信した後に、「お支払いへ」お進みください。

※参加費支払 「お支払いへ」ボタンからリンクする支払サイトで参加費をお支払いください。支払い方法は、クレジットカード、Apple Pay または Google Pay が利用できます。

**申込締切** 申込締切を延長します。2023年11月6日(月)

**連絡事項** 講演終了後、懇親会(17:00-19:00)を開催致します。参加無料ですので、ぜひ最後までご参加ください。

講演テーマおよび講師については、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

最新の情報は、日本写真学会ウェブサイト(<https://www.spjij.jp/>)をご確認ください。

## プログラム

10:00~10:10 開会挨拶

10:10~10:55 講演1 M.ZUIKO DIGITAL ED 90mm F3.5 Macro IS PRO の開発

弓削一憲 氏 (OM デジタルソリューションズ株式会社)

OM デジタルソリューションズは 2023 年 2 月に、撮影倍率 4 倍(35mm 判換算)の撮影を可能とした望遠マクロレンズ M.ZUIKO DIGITAL ED90mm F3.5 Macro IS PRO を発売した。小型軽量・高い手ぶれ補正性能・高速高精度全域対応 AF により手持ち撮影を可能とし、無限遠から 4 倍迄の全域で、高解像と色にじみ抑えた綺麗なボケを実現した。本講演では、開発背景、関連技術について紹介する。

11:00~11:45 講演2 20-40mm F/2.8 Di III VXD(model A062)の開発

阿部真悟 氏 (株式会社タムロン)

タムロンは 2022 年 10 月にフルサイズ用の大口径ズームレンズ 20-40mm F/2.8 Di III VXD(Model A062)を発売した。本講演では小型・軽量の特徴とした本製品の企画と光学設計の変遷を紹介する。また、スマートフォンからのレンズ操作を可能とするタムロンの独自ソフトウェア TAMRON Lens Utility Mobile と本製品を用いた動画撮影のレンズワークについて紹介する。

13:00~13:45 講演3 カメラバカにつける薬

飯田ともき 氏 (漫画家)

デジカメ Watch で連載し 7 年目になる漫画「カメラバカにつける薬」を描いている作者の視点から、この 7 年の間にカメラ業界がどのように変わったのか、どういう人達と関わるようになったのか、何を考えるようになったのかを案内する。時間があれば制作の裏話もしたい。

13:50~14:35 講演4 RF5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE と EOS VR SYSTEM の開発

森健太朗 氏 (キヤノン株式会社)

2021 年に発売した RF5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE と EOS VR SYSTEM は、VR 映像制作を目的に開発された製品である。2 つの魚眼レンズを備えた交換レンズとすることで、両眼視差を利用した画角 180 度の 3D 立体視 VR 映像の撮影を実現した。本講演ではこの交換レンズと、VR 映像の制作・編集ワークフローの効率化を実現した EOS VR SYSTEM の特徴を紹介する。

14:40~15:25 講演5 地球観測用光学センサ (カメラ) のしくみ〜「だいち 3 号」搭載光学センサの例〜

早藤麻美 氏 (国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)

先進光学衛星「だいち 3 号」(ALOS-3) は、広い観測幅(直下 70km)と高い地上分解能(直下 80cm)を併せ持つ、世界的にもユニークな特長を持つ光学センサを搭載した地球観測衛星である。2023 年 3 月、残念ながら衛星は H3 ロケットの失敗により失われてしまったが、その開発技術はぜひ今後のセンサ開発に引き継いでいきたい。ここでは、ALOS-3 搭載の広域・高分解能センサの概要と開発について紹介する。

15:30~16:30 講演6 第30回記念対談「この30年、カメラはどう進歩したか？」

山田久美夫 氏 (写真家)/豊田堅二 氏 (日本写真学会フェロー)

カメラ技術セミナーが始まってからの 30 年間は、ちょうど銀塩カメラからデジタルカメラへの移行期に当たる。各回のセミナーで採り上げられたカメラやその技術からいくつかピックアップし、それらの思い出を語ることによって、この 30 年間のカメラの進歩の足跡を振り返ってみたい。

16:30~16:35 閉会挨拶

17:00~19:00 懇親会

**問合せ先** (一社)日本写真学会事務局 カメラ技術セミナー係

E-mail: [info@spjij.jp](mailto:info@spjij.jp) Tel: 03-3373-0724 Fax: 03-3299-5887